

項目	記載事項
会社名	〇〇株式会社
氏名	〇〇 〇〇
レポートタイトル	4画面分の機能を詰め込んだDelphi/400の在庫照会画面
(1) 業務課題	<p>従来のIBM i 在庫照会画面は、画面情報量の制約により、以下のステップを別々の画面で確認する必要があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①在庫を知りたい商品名から品番を特定 ②品番から各倉庫/事業所など拠点毎の在庫を確認 ③確認したい拠点について、直近の入在庫情報を確認 ④確認したい拠点について、今後の入在庫情報を確認 <p>このため、特に複数の商品の在庫を確認したいときなどは、操作回数が多いため時間がかかっていた。また、照会したデータを簡単にPCにダウンロードしたいという要望があった。</p>
(2) 画面機能の詳細説明	<p>既存のIBM i の4画面をDelphi/400を使って1画面に統合。従来の4ステップが1画面内の操作で実行できるようになった。最初の商品名検索では、ワイルドカード文字(*)を利用し、正確な商品名を思い出せなくても検索可能とした。商品一覧のWindowや入在庫情報のWindowでは、縦スクロールにより大量のデータを画面切り替えせずに参照可能。さらに、明細データのExcel出力も可能とした。</p>
(3) 画面による業務課題の解決	<p>営業担当者は、新しい在庫照会画面を利用することにより、お取引先から在庫の問合せを受けるときなどの回答のスピードが格段にアップした。在庫管理担当者は、倉庫などの拠点毎の商品在庫を簡単に調べられるようになった。製品マーケティング担当者は、各商品の荷動きを確認することにより、販売状況をより実感を持ってとらえることができ、Excelでの分析も可能となった。</p>

文字数目安について (1)、(2)、(3) = 全角150~250文字
 文字数は目安ですので、当てはまらない場合はご相談ください。

添付画面について 画面添付は必須です。原則、一画面についてご説明ください。
 ただし、タブなどによる画面遷移がある場合は複数画面をご使用頂けます。

画面1

在庫照会サンプルプログラム

商品の部分名 (* = ワイルド文字)

日付 2014/02/26

検索

品名 MEMORY 3

拠点	確定	暫定	発注
横浜物流センター	0	CASE 0	
本社	0	0	
関西運輸倉庫	5	CASE 5	
名古屋支社	0	0	
岡山営業所	0	0	
九州営業所	0	0	

品番 商品名

KB10001	KEYBORD 1
KB10002	KEYBORD 2
LC30001	LANCABLE 1
LC10002	LANCABLE 2
MM10010	MEMORY 1
MM10020	MEMORY 2
MM10030	MEMORY 3
MM10040	MEMORY 4
MT00001	MONITOR 1
MT00250	MONITOR 2
MT00255	MONITOR 3
MS20001	MOUSE 1
MS20002	MOUSE 2
MS20003	MOUSE 3
NPC1001	NOTE PC EX
NPC1011	NOTE PC G02
NPC2001	NOTE PC TEW

拠点毎の在庫を表示

拠点 関西運輸倉庫

計上日	伝番	処理区分	入庫	出庫	取引先コード	取引先名
2014/09/26	1-21189	売上	0	2		株式会社関東エンジニア
2014/09/26	4-23088	売上	0	1		西日本商会株式会社
2014/10/01	1-21226	売上	0	2		東京工業株式会社
2014/10/02	1-21273	売上	0	1		日本電子工業株式会社
2014/10/03	3-20224	売上	0	6		株式会社大阪金属工業
2014/10/16	1-00048	調整	0	5		阪神商事株式会社
2014/10/28	1-T2043	返品	0	-17		大川産業株式会社
2014/10/25	5-J1022	受注残	6			浜田機械株式会社 千葉工場

商品名、品番を一覧

スクロールバー

Excel出力機能

Excel出力

開じる(C)

ワイルドカード
で商品検索

拠点毎の在庫
を表示

拠点毎の製品
入出庫を表示

商品名、品番を
一覧

スクロールバー

Excel出力機能

スクロールバー